

# 親から離れて生活・体験！！

## べんけべつコラボ ・ファミリー体験学習

11月24日  
～29日

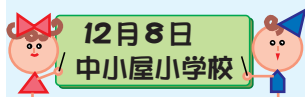
### ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会  
☎ 3-2689



コラボ(コラボレーション)とは？

「協働」という意味。共通の目的に向かって、平等な立場で責任と役割を担い課題解決のため、お互い協調・補完し合って行動することを言います。



12月8日

中小屋小学校

### 親子一緒にふるさと学習

全児童、母親、先生達が一緒に取り組んだ、親子料理教室。

JA女性部の5人が講師となり、地域で採れた野菜を材料に、大根のカレーライスやスープ作りなどに挑戦しました。

子ども達は、慣れない包丁さばきで、野菜を切ったり、味付けや材料のかき混ぜなど、真剣な手つきで取り組んでいました。出来上がった料理に、「上手に出来たネ」と口々に言い合いながらおいしく食べました。



町教委が主催し、家族の大切さや子ども達のふれあいの大切さを学んでもらおうと、弁小と弁中の子ども達12人が弁華別会館で、親と離れて学校に通う5泊6日の共同生活を実施しました。

子ども達はボランティアで参加した道医療大学生の手助けを受けながら、食事づくり、洗濯、掃除を自分達の手ですべて行いました。

また、放課後には「ゆとろ」で車イス押しや、目隠しで館内を歩くなどの福祉体験や地域探索に会館周辺を歩いたり、入浴には温泉・銭湯を利用するなど様々な体験をしました。

閉宿式では、「みんなで料理を作ったのが楽しかった。福祉体験で体の不自由な人のことが分かった」などと話していました。

### 教育推進計画策定委員会から

3専門部会では16の重点項目(12月号掲載)に基づき、生涯学習推進上の現状・課題・重点施策や部会ごとの柱となる考え方を中心に、延べ11回の会議が終了し、計画全体の方向性が見え始めてきています。

今後は、「生涯学習推進計画書」の3月完成を目指し、作業を進めていきます。

11月15日  
白樺コミセン

平成 15年度少年の意見発表会と  
青少年健全育成町民のつどい



町青少年問題協議会が開催し町内在学の小（紙上発表）・中・高生18人が、161人の聴衆の中、「将来の夢」や「環境と動物たち」など、日頃、考えていることや生活体験の意見発表を行いました。

町民のつどいのいじめ防止意見発表では、「人が人として生きる権利が軽んじられる時代を作ってはなりません」と参加者全員の決意宣言がされました。

最後の意見発表の講評では、「皆それぞれ起承転結に構成されています。今後も敏感な感受性と言葉を大事することに心がけてください」と結ばれました。また、当日は当中吹奏楽部の演奏も行われ来場者を楽しませてくれました。

12月7日  
総合体育館

熱戦のスーパードッジボール大会



9回目の町子ども会育成連合会主催「スーパードッジボール大会」が、12チーム144人の参加で開かれました。

チームは、小・中学生と母親で構成され、ボール攻撃やパスまわしなど真剣なプレーに父母らの応援に熱が入りました。

決勝戦は東裏チームと緑町Bチームで行われ、6大会連続制覇している東裏チームが、2セットを連取して優勝しました。  
優勝 東裏子ども会 準優勝 緑町子ども会B  
3位 北栄町子ども会B・若葉子ども会・緑町子ども会A

12月3日  
川下会館

川下小で子育て講演

地域の父母を対象に、NPO当別エコロジカルコミュニティーの山本幹彦氏を招き講演。

写真を使い、自然環境活動をとおした子ども達の遊びや諸外国の環境教育のプログラムの事例を紹介。

また、世界中の家族写真をもとに、どんな暮らしぶりなのか参加者と講師が車座になって懇談しました。

これからは、環境問題の解決の糸口を生み出す視点で子ども達に接することが必要と今後の子育てのあり方を学んでいました。



12月19日  
鉄北幼稚園

サンタクロースに大喜び



サンタのおじさんが、今年も良い子のところにやってきたクリスマス会。

この日は、みんなでフォークダンスをしたり、ポケモンのアニメを見たり子ども達は大はしゃぎ。

魔法の国のサンタランドからソリに乗ってやってきたサンタさんに、「トナカイはどうして空を飛ぶの、おもちゃはどうやって作るの」など子ども達が楽しくおしゃべりし、一人ひとりにプレゼントが渡されました。

手紙を書いたら返事ももらえるとのことで、最後に元気一杯な声で「どうもありがとう」とお礼を言っていました。

11月15日  
弁華別小学校

楽しみました「わくわくフェスティバル」



全児童が生活科と総合的学習の一環として取り組んだ出店形式のフェスティバル。

「地域の人に喜んでもらおう」という大きなテーマに、全児童がチャレンジしました。

廃油と秘密の液体で作る石鹸づくり、「みみず」のレース、コスモスやもみじの葉など押し花の売店、また、「福祉を支える人たちの活動」をテーマとした、老人ホームでの生活のビデオ上映などが行われました。盛りだくさんな子ども達の創造性あふれる出店に、訪れた父母や地域の人たちは、驚きと微笑みしさを浮かべていました。